

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している(研修の実施、相談窓口の設置)。																	
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・研修の実施、相談窓口を設置している。 ・職場いきいきアドバנסカンパニー認証を取得済。 ※ライフワークバランスコース					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3								16.1	
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・社員の労働時間の管理を徹底し、労務担当者が個別で声掛けや事業部ごとで業務の調整を行っている。 ・テレワーク実施時にも勤怠管理をクラウド化することで時間外労働管理を徹底している。 ・36協定を締結し、事業部責任者には定期的な研修を行い、社内の労働時間の把握と管理を行っている。 ・時短勤務を導入し、多様な働き方改革を許容する勤務体制を整備している。							8.5 8.8										
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・人材募集の際、外国人からの応募に対しても積極的に面接を行っている。現段階ではまだ採用にはなっていない。			4.4				8.7 8.8	10.2 10.3									
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員の健康維持のため、健康診断を年1回実施している。 また、感染病対策で社内でのマスク配布、簡易検査キットの常備、アルコール消毒の設置や、空気清浄機、加湿器など、社内の環境を整える取組を行っている。		3					8										
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・やむを得ず生じる長時間労働がある社員に対して労務担当者が状況確認など行う。 ・業務以外の内容も含めた個人面談を定期的に行っている。		3															
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍できる職場環境を整備することを目指し、長野県の「社員の子育て応援宣言」また、厚生労働省の「両立支援のひろば」に登録している。 ・30代の女性社員が多く、2014年からは毎年育児休業取得者がおり、職場復帰率は100%となっている。 ・未就学児童を持つ親については、時短勤務制度を導入、2023年度からは、就学を迎えた子を持つ親については、時差勤務制度を導入、実施している。				5.1 5.5		8.5	10.2 10.3										
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・社員が必要とするセミナーや勉強会へ参加を会社としてサポートし、後日参加者による社内情報共有を行っている。			4	5.5		8	9										
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム従業員に関しても賞与の支給、昇給など、正社員と同様の制度を遵守している。 ・職場いきいきアドバنسカンパニー認証を取得済。				5.5		8.5	10.2 10.3										
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・年に一度健康診断を実施している。 ・体調がすぐれない社員がいた場合は即座に事業部内で作業分担を図り、早退や休暇を取らせるなど徹底している。		3				8											
	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・リサイクル可能な資源物を分別したり、再利用可能と思われるものは専門業者へ持ち込み、できるだけゴミの減量化を進めている。また、13名の事業所(本社)では1週間の可燃ごみの量を45Lの袋1枚と目安を決め、範囲内におさめる努力をしている。										11.6	12.4	14.1					
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・毎月自社の電気使用量、社用車の走行距離を周知している。 ・2022年9月に開所した弊社の新事業である通所型介護施設においては、太陽光・蓄電池システムを導入し、リアルタイムで使用電力が確認できるようになっている。						7.3					13						

13	環境	□ 【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・会社で所有する社用車をハイブリットカーにして、業務における外出については、それを使用することを義務化し徹底している。 ・近隣の取引先へは徒歩または会社保有の自転車を利用し、訪問している。 ・2022年9月に開所した弊社の新事業である通所型介護施設においては、太陽光・蓄電池システムを導入し、可能な限りの電力自給自足に取り組んでいる。				7.2 7.3			12.4	13.3	
14		□ 【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令規制の有害化学物質を把握、使用量の抑制と適切な使用・保管・処理を行っている。	3.9		6.3			11.6	12.4		
15		□ 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。			6.6					15	
16		□ 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・社内の格納書類などに使うファイルの再利用を徹底している。社外提出用以外は、保管期間が過ぎた年度のファイルを使用。 ・機器類に関しては、リサイクル業者への持ち込んでいる。							12.5	14.1	
17		□ 【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・前日に余ったポットの水や加湿器の水の入れ替え時は社内の植物の水やりに使用するなど、排水するではなく可能な限りの再利用を心掛けている。			6.4 6.6						



